

平成28年度 第2回田村市環境審議会会議録

○日時 平成29年2月20日（火曜日）14:55～16:15

○会場 田村市役所304会議室

○審議会日程

日程第1 審議事項1 「田村市一般廃棄物処理基本計画」策定について

日程第2 審議事項2 答申内容について

日程第3 その他 今後の審議会開催予定について

日程第4 答申

○出席委員（9名）

樋口 良之委員、小泉 善哉委員、佐藤 員生委員、佐藤 裕一郎委員、郡司 健一委員、
冨塚 今朝郎委員、吉田 修一委員、村上 栄治委員、白石 高司委員

○欠席委員（4名）

安瀬 一正委員、山野邊 千賀子委員、根本 静江委員、小泉 哲夫委員

○事務局出席職員（4名）

七海 茂市民部長、矢吹 晴彦生活環境課長、吉田 孝主幹兼課長補佐兼環境衛生係長
山内 秀享主任主査

1 開会

○進行（生活環境課長）

本日の出席委員数は9名です。

欠席委員は、安瀬一正委員、山野邊千賀子委員、根本静江委員、小泉哲夫委員の4名です。

田村市環境条例第18条の規定によりまして、出席委員が定足数に達しておりますので、本審議会が成立しますことをご報告いたします。

村上副会長より、開会のことばを申し上げます。

○村上副会長

委員のみなさまご苦労様です。

ただいまより、第2回田村市環境審議会を開会いたします。

どうぞよろしく願いいたします。

2 会長あいさつ

○進行（生活環境課長）

続きまして、樋口会長よりごあいさつを申し上げます。

樋口会長、よろしく願いいたします。

○樋口会長

みなさんこんにちは、本日もよろしく願いいたします。

本日は、答申を固めるべく、みなさまと議論を交わしていきたいと思っておりますので、活発なご意見を申し上げます。

3 審議事項等

○進行（生活環境課長）

審議事項に入る前に、お手元の資料の確認をお願いします。

本日は、審議会次第と概要書のほか、事前に配布いたしました計画書案でございます。

これよりは、田村市環境条例第12条の規定によりまして、会長が議長となり進行することとなりますので、樋口会長よろしくお願い申し上げます。

○樋口会長

それでは審議に入ります。

審議事項(1)田村市一般廃棄物処理基本計画策定について、初めに事務局の説明を求めます。

○事務局

《前回審議会時における意見及び質問、指摘事項について、検討結果及び計画への反映状況などについての説明》

○樋口会長

ちょっとよろしいですか、表記の仕方だと思いますが、避難者・作業員が1,300人増えているのに、ごみの総排出見込量が減っているのでしょうか？

○事務局

前回の審議会でご指摘を受けました、人口に避難者・作業員数を加えたことで、1日1人当たりのごみの排出量が減少することとなりました。

本計画におけるごみの総排出見込量は、1日1人当たりのごみの排出量をベースに算出しておりますことから、減少した1日1人当たりのごみの排出量の実績に基づいて、ごみの総排出見込量を算定した結果、人口が増加したことで生じる廃棄物量より、1日1人当たりのごみの排出量の減少率が大きくなったことから、逆転現象が生じております。

○樋口会長

そうしますと、避難者・作業員については、田村市に昔から住んでいる方と比べて、ごみを出さないということなのでしょうか。

ダイレクトに表を比較する、人口が約1,300人増えているのに対して、約70tのごみが減少しているのは、不思議に映ります。

○事務局

前回の審議会時にお示ししましたごみ量につきましては、避難者や作業員が輩出した廃棄物も含まれておりましたが、人口は住民登録のある方のみであったことから、1日1人当たりのごみ排出量が実際より多く計算されておりました。

今回お示しした一覧表では、人口に避難者や作業員数を加えたことから、1日1人当たりのごみ排出量が減少しており、その結果、見込量の算定基礎となる、過去5年間の1日1人当たりのごみ排出量の推移における増加率が緩やかになりました。結果、人口の増加分より、増加量の減少分が上回るという逆転現象が生じました。

○樋口会長

計算の考え方はわかりましたが、この一覧表にはその考え方が全く示されていないので、注意

書きなどで補足説明をしないと、この表はしっくりきません。

○白石委員

避難者や作業員を含む含まないということが、クローズアップされていますが、そもそも避難者や作業員がいてもいなくても、我々ここに住んでいる人の出すごみの量は、増える、減る、変わらない、どうなのでしょう。

○事務局

ごみ量の予測をするうえでは、避難者や作業員と住民登録されている方のごみ排出量は同じと仮定して推計しております。

○白石委員

それならば、人口が増えているのにごみ量が減っているということはありませんか。

○郡司委員

本来であれば、避難者や作業員を含まない表では、ごみの排出量が少なくなるとおかしいが、この表では同量となっている。

○佐藤裕一郎委員

「ごみの排出量は、避難者や作業員が出した分を区別できないから含んでいます。一方、人口については前は含んでいませんが今回含みました」ということで、基本になる数字がはっきりしていないことから矛盾が生じていると思います。

○樋口会長

いずれにしても、この資料は再精査して作り直しをしないといけないと思います。

○白石委員

今回の計画は、我々住民のための計画であるので、避難者や作業員を除外して考えたらいかがでしょうか。

○市民部長

みなさまのご議論をお伺いして、私も前回の審議会においては、避難者や作業員の排出したごみ量を差し引いた数字を比較検討にするということで承知しておりましたので、この部分につきましては、含む含まないで今後の推計量に大きく影響が出てきますことから、事務局サイドで今一度調整させていただきたいと思います。

○樋口会長

それでは、議長としてまとめさせていただきます。
資料につきましては、いま議論のありました事柄を踏まえて、見直しをしていただくということでよろしく願いいたします。
続きまして、事務局説明をお願いします。

○事務局

《引き続き、前回審議会時における意見及び質問、指摘事項について、検討結果及び計画への反映状況などについての説明》

○樋口会長

これまでの、各委員のご指摘に基づきまして一部訂正や加筆があったり、意見や質問等にあつては資料により答えられていたり、すでに計画案に含まれているという回答がありました。

委員のみなさまいかがでしょうか。

○佐藤裕一郎委員

前回、私が指摘いたしました船引最終処分場のかさ上げに関する記述が直っておりませんので、修正をお願いいたします。

○事務局

大変失礼いたしました。

佐藤裕一郎委員のご指摘のとおり、かさ上げ工事にかかる記述は削除いたします。

○樋口会長

私から、委員のみなさまに一つ確認したいことがあります。

計画案や概要編の中に「避難者・作業員」という表記が見受けられますが、表記するとしても、委員のみなさまに地域に住んでおられる方として考えていただきたいことがあります。

ひとつ目は、住民と区分けすることで軋轢を生じてしまい、全体としてごみの量を削減しているという機運が萎んでしまうのではないかと懸念があります。

もう一点は、住民登録をしないで大きな会社などで働いている方もおりますので、そういった方々と色分けをするのではなく、「住民登録をされていない方」や「日中に市内で活動されている方」といった柔らかい表現としたほうがいいのではないかと思います。

載せるという場合にはそういう表記にしたほうがいいたらうと思います。

一方、載せないという考え方もあるとおもいますが、その場合は、計画案のどこかに前提条件として、「住民が排出したごみ量について、あらゆる影響を除外して精査した数値に基づいて作成しています。」ということを明記する必要があると考えますが、委員のみなさまのお考えをお一人ずつお聞かせ願います。

○白石委員

私が前回お話ししました真意は、従来から田村市に住んでいる方と避難者・作業員を考えた時に、ごみの量として作業員は365日市内で生活をしているわけでないことから、少なくなると見ております。その方々を分母に加えて計画を立てると、そもそもの住民の出すごみの量が減っていかないということが起こるのが心配なわけです。

トレンドでは、何もしなくてもごみの量が減っていくことになるので、それではうまくいかなってしまうことが危惧されます。

○樋口会長

ということは、含めたほうが良いとお考えでしょうか。

○白石委員

私の考えはごみの総量を減らすことが主眼であって、避難者・作業員を含む、含まないはどちらでも構わないと思います。

もうひとつお願いしたいのは、平成28年度の実績が間もなく出てきますが、トレンドで算定した見込みと実際の数値のチェックをお願いしたいです。

15年経って「やっぱりダメでした」というのはマズいと思います。

○樋口会長

了解しました。

事務局におきましては、実績とのチェックをお願いいたします。

続きまして、村上副会長いかがでしょうか。

○村上副会長

私としては、田村市の計画である以上、避難者や作業員を含めなくてもいいのではないかと考えます。

いずれは、避難者・作業員はいなくなってしまうので、田村市に住所のある住民を対象とした計画であることが基本だと思います。

○樋口会長

吉田委員いかがでしょうか。

○吉田委員

私は、村上副会長の意見に賛成いたします。

国の指示で避難されている方や、復興に尽力されている作業員の方が、悪い印象を持たれるような語句は入れないほうが良いと思います。

○樋口会長

富塚委員いかがでしょうか。

○富塚委員

私も、避難者や作業員という言葉には差別を感じますので、別の言葉を使ってもらったほうが良いと思います。

あと、逆のパターンで昼間は市外に勤めに出ている人も多くいると思いますので、そちらも考慮しているかについての記載が必要だと思います。

○樋口会長

郡司委員いかがでしょうか。

○郡司委員

私は、計画案にある通り、避難者や作業員を含めた数値としたほうが良いと考えます。

○樋口会長

佐藤裕一郎委員いかがでしょうか。

○佐藤裕一郎委員

平成23年度から27年度ごみの実績としては、避難者や作業員といった方が出されている量も含まれていて分けることが出来ないことから、人口にも含めるのがいいと考えます。

その中で、避難者・作業員ということで特化視しないで、昼間人口といった言葉を使ったほうがいいと思います。

○樋口会長

佐藤員生委員いかがでしょうか。

○佐藤員生委員

私も、避難者や作業員という言葉を使わない形で数値は含めたほうがいいのではないかと考えます。

あとは、観光客についても戻ってきているので、その辺も考える必要があるのではないのでしょうか。

○樋口会長

小泉善哉委員いかがでしょうか。

○小泉善哉委員

私としては、避難者や作業員という言葉が差別につながるとは考えておりませんが、最終的に平成42年度に0になるということが明記されていれば、数値自体は含めたものとして計画したほうが良いと思います。また、表記方法につきましても、これが良いということは考え付きませんが、素晴らしい表現があればなあと、知恵を絞っていただければ有り難いと思います。

○樋口会長

みなさんの意見を総称すると次の通りかと思います。
数値については、避難者や作業員を含めたものを使い、人口は住民と避難者や作業員を区別することなく合算した人口として、枠外にその旨がわかるような注釈を加えるということでしょうか。

○市民部長

みなさまから表記方法につきましてご意見をいただきましたが、「震災による特殊要因を考慮した収集人口」といった内容ではいかがでしょうか。

○樋口会長

なるほど、それも良いと思います。
ぜひ知恵を出し合って良い内容にさせていただけたらと思います。
そのほか、各委員から注意していただきたいことも発言がありましたので、事務局におかれましては、内容を十分お含みいただいて精査に努めてください。
それでは、基本計画書につきましては、議論されたとしてよろしいでしょうか。

○出席委員

異議なし。

○樋口会長

ありがとうございました。
それでは、続きまして審議事項（2）答申内容について事務局の説明を求めます。

○事務局

《答申案について説明》

各委員は、答申案を事前に事務局より提示を受けて、内容については確認済

○樋口会長

私も本答申案を事前に読ませていただき、問題ないと考えておりますが、委員のみなさまこの内容でよろしいでしょうか。

○出席委員

異議なし。

○樋口会長

ありがとうございました。
異議なしと認め、本内容により当審議会の答申といたします。
以上で、すべての議案は終了いたしました。
真剣な議論をいただきまして、誠にありがとうございました。
これにて座長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

4 その他

○進行（生活環境課長）

樋口会長には難しいかじ取りをいただき誠にありがとうございました。
また、委員のみなさまにおかれましても、慎重な審議をいただき御礼申し上げます。
続きまして、その他に入ります。（1）今後の審議会開催につきまして、事務局よりご説明申し上げます。

○事務局

《今後の審議会開催予定の説明》

新たな諮問事項が発生しない場合、審議会の開催予定はない。
年度末で役職を引き継ぐ場合は、審議会委員についても申し送りを依頼。

○進行（生活環境課長）

（2）その他につきまして、事務局では特段ございませんが、委員のみなさま何かございますでしょうか。

○吉田委員

私のほうからお話ししたいことは、田村市管内において行われている除染で出た廃棄物で、かなりの量が回収されずに残っております。
例えば、農業用プラスチックは環境省から田畑の脇に仮置きするよう指示がありましたが、それ以来何の通達もなく放置したままとなっておりますが、将来どうするのかにつきまして、市として環境省に問い合わせや対策を講じて欲しいと思います。

○生活環境課長

市でも折を見てこれらの問題等について、環境省に申し入れをしておりますが、20km圏内のいわゆる対策地域内廃棄物につきましては、処理されていないという現状もあります。
原則、処理については国が行うこととなっており、現在対応を進めているところではありますが、市としましても、それらの廃棄物の処理が進まないという復興にもつながらないことから、引き続き強く求めてまいりたいと考えております。

5 答申

○進行（生活環境課長）

ただ今、ご審議いただきました諮問案件の答申につきまして、当審議会を代表しまして樋口会長より行っていただきます。
なお、本日は市長が公務のため出席できませんので、七海市民部長が代理で受領いたします。
それではお二方は、前にお進みください。

《樋口会長が答申書を読み上げたのち、市長代理の七海市民部長へ伝達》

○進行（生活環境課長）

それでは、七海市民部長より、御礼のごあいさつを申し上げます。

○市民部長

ただ今、樋口会長より答申書をいただきました。
委員のみなさまにおかれましては、慎重なるご審議をいただき心より御礼申し上げます。
本計画につきましては、今後の田村市における廃棄物処理の指針として、適切に取り組んで参

る所存です。

改めて委員の皆さまには、田村市の安全で安心して暮らせる環境を目指すにあたりまして、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げまして、御礼のごあいさつに代えさせていただきます。大変ありがとうございました。

○進行（生活環境課長）

今回の答申に基づいて作成されます、「田村市一般廃棄物処理基本計画」につきましては、本日いただきましたご意見等を踏まえて作成しまして後日、完成版を各委員にご送付いたします。

○市民部長

本来ですと、修正した時点で委員のみなさまに改めて確認をするところではありますが、時間的な都合もございますので、事務局が整理した内容につきまして、樋口会長と協議をさせていただき、会長の決定をいただければ成案として仕上げたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

6 閉会

○進行（生活環境課長）

それでは、村上副会長より閉会の言葉をお願い申し上げます。

○村上副会長

貴重なご意見を出していただきまして、答申も出すことができました。以上をもちまして、第2回田村市環境審議会を閉会といたします。長い間、ご苦勞様でした。



審議状況



樋口会長より答申の伝達